

沖縄戦の住民問題を再検証する

沖縄戦における 住民問題

原 剛 著

住民の疎開・避難を中心に、防衛召集、スパイ視問題、集団自決問題など、やや感情に走りがちで、事実が誤認されたり、隠蔽されたり、正しく伝えられていない一面もある沖縄戦における住民問題について史料に基づき実証的に再検証する。



定価: 1,980円 (10%税込)

[本体: 1,800円]

令和3年3月発行

四六判・並製・カバー装・192頁

ISBN978-4-7646-0353-0

おわりに
参考文献

第七章 集団自決問題

一、集団自決について／二、渡嘉敷島の集団自決／三、座間味島の集団自決／四、集団自決の要因

第六章 スパイ視問題と住民殺害

一、スパイ視問題／二、スパイ容疑による住民殺害

第五章 防衛隊と防衛召集および学徒の戦力化

一、防衛隊／二、防衛召集／三、男女学徒の戦力化

第四章 避難

一、北部への避難／二、戦闘開始後の南部への避難／三、米軍による収容／四、宮古・八重山の状況／五、収容者および疎開者の復帰

第三章 疎開

一、県外への一般疎開／二、学童疎開

第二章 沖縄戦の経過概要

一、第三軍の作戦準備／二、戦闘経過

第一章 沖縄県の概要

一、沖縄県の地勢／二、沖縄県の人口と食糧米／三、行政機関／四、戦場地域の行政責任／五、住民感情／六、行政責任者等の県外脱出

❖ 目次抄 ❖

著者略歴

一九三七年、香川県生まれ。
一九六〇年、防衛大学校卒業。以後、陸上自衛隊第一〇普通科連隊、第二八普通科連隊、防衛大学校、幹部候補生学校勤務。その後、防衛研究所戦史部に勤務し戦史研究に従事、自衛官定年退官後も防衛研究所戦史部教官(文官)として勤務、文官定年退官後も戦史部調査員(非常勤)として約十年間戦史研究に従事。以後、軍事史研究家として主として日本軍事史(国土防衛史)の研究に当たる。軍事史学会理事・副会長などを経て現在同会顧問。NHK「坂の上の雲」の陸軍考証担当。現在、平和祈念展示資料館監修員、しょうけい館々長。

[ご注文・お問い合わせ]

錦正社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6 URL <https://kinseisha.jp/>
電話 03(5261)2891 FAX03(5261)2892



注文書	書店様番線	注文数	沖縄戦における住民問題 定価: 本体 1,800 円(税別) ISBN978-4-7646-0353-0
		冊	
	お名前		
	〒 ご住所		
		お電話	